

【強度行動障がい支援者養成研修（専門研修）とは】

平成24年度から本県独自の研修（取り組み）として「鳥取県強度行動障がい支援者養成研修（専門研修）」は行われています。同研修では、①支援現場のリーダーの養成、②支援ツールの効果的な活用、③PDCAサイクル（実践と振り返り）の理解と習得、を目的としています。

研修のプログラムは全6回です。その内2～5回目は、参加者が実際に関わっている支援困難事例を基に、グループ内で事例検討を行います。対象者の評価（対象者の理解、何に困っているのかなど）から、具体的な支援方法・計画の立案、支援結果の評価、支援方法の再検討を繰り返し行います（右図）。

- 対象者の情報整理
- 課題の整理
- 支援方法の検討・立案
- 周知・記録方法の検討
etc.



2～4週間：事業所で実践

- 支援・記録方法の周知
- 統一した支援の実施
- 様々な構造化
- 映像資料の撮影
- 支援結果のフィードバック
etc.

- 支援結果の整理
- 課題の整理
- 支援方法の見直し
- 記録方法の再検討
etc.



本研修の一環として、各受講者が取り組んだ実践成果（全9事例のうち5事例）を、広く関係者に情報発信する場として「実践報告会」を開催します。行動障がいについての対処法だけでなく、行動障がいの機能（起きている理由や意味）や未然に防ぐ対応などについて理解を深めていただくきっかけになれば幸いです。

「行動障がいがある方が安心して生活を送り、そして新たなことにチャレンジできる。」そんな社会となることを目指し、本実践報告会を開催します。

- 日時： 令和6年 **12**月 **12**日（木曜日） 13:30～16:30（12:30 受付開始）
- 会場： エースパック未来中心（鳥取県立倉吉未来中心）セミナールーム3
〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5
- 対象者： 行動障がい児・者の教育や医療、支援に携わっている方、及び関係者
- 定員： 100人 ※先着順
- 参加費： 無料
- 日程： 裏面をご参照ください（※内容・時間は変更する場合があります。予めご了承ください）
- 申込み： 別紙「申込書」に必要事項をご記入の上、**12月9日（月）**までに、mail または faxにてお申し込みください。

※ なお受講決定のご連絡はいたしません（中止などの場合のみ、ご連絡いたします）。
※ 連絡がない場合は、上記日程のとおりご参加ください。

- その他： 空調の温度調整が難しい場合がございます。体温調整ができる衣類をご持参いただきますようお願いいたします。

■ 日 程： ※ 内容・時間は変更になる場合がありますので、予めご了承ください

時 間	内 容
12:30 - 13:00	受付
13:00 - 13:30	【ポスターセッション】 12:30-13:30 の時間で、本研修受講者 8 名によるポスターセッションを行います。様々な年代、そして様々な行動障がいがある方への実践事例です。 支援結果以外にも、「どのようにチームで支援に取り組むのか?」「統一した支援を実現するための工夫」など、行動障がい者支援のポイントや、実際の支援に役立つヒントが散りばめられているはずです。
13:30 - 13:35	開会・事務連絡
13:35 - 14:25	「専門研修の概要と強度行動障がい者支援で大切なポイント」 鳥取大学大学院医学系研究科 臨床心理学講座 教授 井上雅彦 氏
14:25 - 14:55	休憩 + ポスターセッション
14:55 - 16:25	実践報告 I ■ 計 5 題 ～ ■ 発表時間 = 15 分 実践報告 V ■ 各発表後に質疑 + 講評
16:25 - 16:30	まとめ
16:30	閉会



【申し込み、及び研修に関するお問い合わせ】

社会福祉法人鳥取県厚生事業団（担当：上田）

〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野2259-43

Tel 0857-59-6033 **Mail** honbu_kikaku3@tottori-kousei.jp